

令和元年度和束町子ども・子育て会議（第1回） 議事録

日時：令和元年7月11日（木）午後8時00分～

場所：和束町社会福祉センター大ホール

委員：出席9名、委任状提出1名

1. 開会

2. 町長挨拶

3. 委嘱書（任命書）交付

4. 会長挨拶

5. 議事

①第2期和束町子ども・子育て支援事業計画骨子案について

事務局から、「第2期和束町子ども・子育て支援事業計画骨子案」に関して説明を行いつつ、随時質疑応答を行った。資料に関する委員からの意見は以下の通りである。

会 長：「計画策定の背景と目的」の部分で、国の流れだけでなく、和束町としての背景や動きも追記してほしい。

事務局：追記する。

会 長：父子手帳というのは、どういうものか。

事務局：母子手帳を渡す際に、父親用の手帳として、父子手帳を配布している。同時に配布するので、配布数は同数となっている。

委 員：高校生までの医療費の無償化や修学旅行費の無償化など、和束町として手厚い支援を行っていると思う。今後も引き続き、支援の実施をお願いしたい。

また、「子どものしつけ」に関する悩みが多くなっていることに関して、先日「叱らない子育て講座」が、保育所で開催された。しかし、参加者が少ない状況。せっかく良い講座を開催しているので、講座の周知や参加者を増やすための方策を実施することが大切だと思う。

会 長：広報等は実施していたのか。

事務局：広報は実施している。しかし、保護者によって都合のつく時間帯が定まらず、開催する日程調整が難しいことは事実としてある。平日か休日か、昼間か夜間か等、開催のタイミングが難しい。

会 長：開催してほしい時間帯等を保護者に直接聞くのも良いかと思う。また、保育園のイベントと連携して、同時に開催するのはどうか。保育園と調整することも検討してほしい。

委 員：放課後児童クラブについて「指導内容を工夫してほしい」という要望があるが、保護者はどのような指導を求めているのか。放課後児童クラブとしての、本来の保育や指導を保護者が理解したうえでの要望なのか、判断が難しい部分であると思う。

事務局：放課後児童クラブは預かりの場所であり、勉強等を指導する場ではないという説明は、保護者の方にも、預かる際のはじめの説明として行っている。しかし、保護者の方からの要

望、希望としては「宿題」や「英会話」といった指導を行ってほしいという意見もあり、アンケートの自由意見でも「宿題をしないで帰ってきた、指導をしてほしい」というご意見もあった。長期休暇中は勉強の時間は一定設けているが、学校の授業のようなカリキュラムが組まれているわけではない。

会 長：そういった宿題等の「勉強」を指導することは、実現としては可能なのか。

事務局：「勉強」を指導するのであれば、指導する側として専門の指導者が必要となるので難しいとは思う。

会 長：確かに難しいとは思う。しかし意見として出ている部分でもあるので、取り入れるための検討はしてもいいかと思う。預ける際にははじめの説明を行い、保護者の理解を進めると同時に、「宿題」の時間を設ける等の対応の検討も進めてほしい。

委 員：就学前調査において、「遊び場が少ない」という意見があったが、小学生についても同様に遊ぶ場所が不足していると思う。友人宅も遠く、子どもの足で移動できず、遊び場としてもグラウンドだけで遊具も少なく、和東運動公園が唯一の遊び場となっている。保育所に通う年齢の子どもから小学生も含めて、遊べる場所を作ってもらえればと思う。

事務局：遊び場としてどこかに大きなものを作るとなると、和東町のような広い町としては、移動が難しくなる。子どものための遊び場の確保については検討を進めており、各区長から場所の提供等の声も挙がっている。今後の検討事項とさせていただければと思う。

会 長：町としての集約的な遊び場として、和東運動公園は良いと思う。移動距離があるのは確かだが、保護者の送迎があることで保護者の目が遊ぶ間も届くので、そういった部分は子どもの安全に繋がると思う。

また、遊び場に関連した部分で「トイレなどが不衛生である」という意見がある。そういった衛生面はすぐにでも対応可能であると思うので、改善すべき事項として検討してほしい。

委 員：自分の子どもは、放課後児童クラブは友達と遊ぶことを目的として通わせている。平日は放課後児童クラブで遊べるが、土日の遊び場として公園等が必要と思う。しかし、公園で野球をしていたりして、子どもが遊ぶ環境としては少し危ないな、と感じる。

会 長：硬式野球をする場としての貸出もしているので、硬式の野球ボールは子どもにとって危ないと思う。場所の貸出を行うことは従来通り続けて良いと思うが、子どもの遊び場との住み分けは必要と思う。

事務局：公園、遊び場が近くにある環境の整備については、これまでと同様引き続き検討をしていく。

会 長：近年、遊具の危険性についても挙げられているので、町としての遊具の安全確認の実施の検討も必要だと思う。遊具の管理といった部分も検討して行ってほしい。

事務局：検討する。

話が少し戻るが、放課後児童クラブについて、「利用時間を延長してほしい」という要望も上がっていた。それについては、今年度から保育時間を8：00～18：30とし、対応している。情報として知っておいていただければと思う。

会 長：住民による第1期計画事業の評価に関する部分で、「家庭の子育て支援の推進」が、就学前児童調査と小学生調査で大きく異なっている。その理由についてももう少し深く分析する必要があると思う。

事務局：今後、分析を進める。

- 会 長：子どもの将来人口について、今後もこれまでと同様に減少傾向となるだろう。
- 事務局：出生数については、ほぼ横ばいで推移している。子どもの数が減少する要因としては、転出が主な要因であると考えられる。
- 会 長：人口の増減については、町全体の計画で扱っていく部分だと思うので、この子ども・子育て支援事業計画では、子どものための環境作りを中心として考えていけるような計画作りをしていくことが重要だと思う。
- また、医療に関する部分で、インフルエンザの予防接種の料金が高くなっており、負担が大きいとは思う。今はどのような補助を行っているのか。
- 事務局：乳幼児、高齢者については、補助を実施している。
- 会 長：補助の範囲が少しずつでも広げていけると良いと思う。
- 委 員：延長保育について、延長保育は申請をした方のみでの利用としているが、現在の申請者は1名のみで、利用者が少ない現状である。
- 会 長：制度としては良い制度なのだが、追加料金の100円が払にくいという保護者もいるだろう。
- 委 員：自分は他市町村から転入してきたので、100円で何時間でも預かってもらえる、和束町の延長保育は本当にありがたい制度だと感じているが、他と比べてみないとその良さは気付かない部分もあると思う。
- 事務局：延長保育の制度がはじまったばかりということもあり、現在の利用が少ないという可能性もある。今後利用が増えていこうと考えている。預かり時間が長くなると、通勤範囲も広がり、働き方としても様々選択できるようになると思う。
- 会 長：他市町村を知らないと、預かりに延長料金がかかることが負担と感じる方もいるだろう。だが、和束町は負担としては少ない方。良い制度なので広報等周知もしっかりとってほしい。
- 委 員：和束町の子育て環境としては、「豊かでのびのび」が良いところだと思う。確かに他市内での保育・教育では英会話を実施したりしているが、そういった場所では和束町の良さはないだろう。どの部分を重要視するかが大切なのではないか。保育所では、じっと座って話を聞く等のマナーを学ぶことがまずは大事と思う。
- 会 長：「英会話」のために、中学校のAETを保育所でも迎えるのは可能なのか。
- 事務局：スケジュールの関係もあるとは思うので、難しいかもしれない。
- 委 員：メディアでもいわれているが、幼少期は英語よりも国語をしっかりと学ぶことが大切だと思う。保育園では、まずはたくさん遊ぶことが大事。
- 会 長：小学校の方で、英語教育は開始されているのか。
- 委 員：5、6年生は英語教育がカリキュラムに入っている。
- 会 長：英語教育の若年齢化が、保育園での英語教育の要望に繋がっている可能性もあるだろう。
- 事務局：勉強としての英会話ではなく、英語に親しむ活動は支援している。
- 会 長：ショートステイを京都大和の家にて実施していると記載があるが、委託をしているということか。また、料金としてはどのくらいか。核家族化した現状としては、そういった支援も重要となると思う。
- 事務局：ショートステイ・トワイライトステイは京都大和の家に委託している。料金としては、正確な金額が今はわからないが、数千円程度かと思う。
- 委 員：放課後児童クラブと児童館は同じものか。

事務局：別のものである。放課後児童クラブは、子ども・子育て支援事業の1つで放課後に保育を行うもの。児童館は、最近呼び方を変えていきいきこども館として、子どもの遊び場を提供している。放課後児童クラブは月額で利用料がかかるが、いきいきこども館は基本的には料金はかからず、イベント時に負担がかかる仕組みとなっている。

委員：放課後児童クラブは月額の料金がかかるので、月に1回だけ利用するといった利用ができない。一時預かりのような使い方ができると良いと思う。また、どのような場所なのか体験できるような制度があると良いと思う。子どもも行ってみたいがどんな場所かわからないというので、お試的に参加できるとありがたい。

会長：児童館と放課後児童クラブで、どちらも児童が入るからわかりづらいのかもしれない。放課後児童クラブの名称を変えても良いのではないか。

委員：「計画策定の背景と目的」の「小1の壁」に関する部分で、共働き家庭について記載があるが、「小1の壁」は共働き家庭のみの問題ではないので、記載内容について改めて検討してほしい。

事務局：修正する。

委員：和束町においても、歩道の整備が進められていて大変ありがたい。今後も歩道の整備は進められていくのか。また、バイパスの出口近くの道路は車もスピードが速いので、その歩道は早めに整備してほしい。

事務局：府道の歩道の整備は府の管轄なので、和束町として整備を進めていくことは難しいので、府の方に要望として挙げさせていただく。

4. その他

事務局：今後のスケジュールとしては次回子ども・子育て会議を12月頃に開催させていただく予定としている。この会議では計画の素案を提示させていただきたいと考えている。あくまでも現時点での予定であるので、日程を含め詳細が決まり次第、各委員へ連絡させていただければと思う。

以上